

### 平安女学院がマスコミに報道されました！！

大学クリスマス・カンタータ

二〇一二年一月  
高槻ケブルネットワーク街かどほとらいん



資生堂 就活メイク講座

二〇一二年一月四日 毎日新聞

自然なメイクで好印象を  
就活で役立つ講座 就活講座に200人



服部客員教授に焦点を  
当てながら本学を紹介

二〇一二年一月四日  
KBS京都TV 羽田美智子の京都専科



学院創立当時の歴史を  
中心に、展示で紹介

二〇一二年一月 川沿いを歩ける町づくり  
の会主催 川口居留地がリッツでした展



学院にゆかりの深いオールドリッチ女史の活動を紹介  
二〇一二年一月五日 琉球新報



沖縄と日本の間で  
伊波普猷 帝大卒業の道

懊悩から救い求め  
オールドリッチと出会う



注1 斎藤明子（せんじょう ちよみこ）1902-55 沖縄研究者。那覇区東町生まれ。沖縄県立第一中学校、東京外国語学校を卒業。代表作『激動の沖縄物語』(三省堂、1944年)の著者。  
『舞臺秘録』(文六館及び松光堂発行、1933年)の著者がある。『沖城』(民権から歴史・文学など幅広い面をこめこめとくつな研究探検を奨励した。  
注2 沖城日報社（おきしろにっぴんしゃ）1932年1月にスタートした『沖城日報』の発行母体。行徳日新報社を吸収した新報で、産産組の次郎社長に、朝日新聞（朝日新聞）の社長（むかしはなつかし）や、長久地政（ながちのちやう）といった優秀な人物を擁護し、産産組、沖城新聞、沖城新聞日新報社を合併して、1940年12月、戦下の新聞界で活躍。注3に『日新の沖城人名録』(1937年)を刊行。  
注3 マーサ・オールドリッチ (Martha Aldrich) 生涯年表 1888(明治21)年10月28日にアメリカ生まれ。11月14日東京に到着。翌年4月、女性の自立を勧められた少くも経験。明治29年9月から1年、京都の平安女学院で音楽講師。詳しい経歴は中略。